



ぱんだ・ぞう・きいんぐみだより

きらら保育園 令和6年3月1日発行

日に日に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。子ども達は、お部屋から外を眺め、「先生、春だね」と話し、暖かい日差しを感じながら、季節の変わり目を楽しんでいるようです。今年度も残りわずかとなりました。この一年を振り返り、一人ひとり自分のペースで大きく、たくましく成長した姿に、うれしさを感じている今日この頃です。残りの1ヶ月、子ども達の好きな遊びを笑顔で楽しみながら、進級・進学ワクワクを胸に、春を迎えたいと思います。



節分行事を楽しみました

ホールに集まり、節分行事を楽しみました。自分で作ったお面を被って、みんなの前で披露したり、節分クイズを楽しんだ後、待ちに待った豆まきがスタート。「鬼は外！福は内！」と言いながら、パネルの「泣き虫鬼」、「おこりんぼう鬼」に向かって豆をまいていると、いよいよそこへ、赤鬼さん、青鬼さんが登場。今年は、鬼さんと一緒にお相撲をとることになった子どもたち。鬼さんに力いっぱい立ち向かい、鬼さんが降参して帰っていくと、どこか誇らしげな表情を浮かべていました(^_^)v



お部屋での様子

お部屋では、子ども達お友だちを誘って、自分の好きな遊びを楽しんでいます。製作を楽しんでいるお友だちを見つくと、「わたしも、やる。それ、どうやるの?」と会話を始め、作品を作っては「できた♡」と喜び、その作品を使って、ごっこ遊びを始めたり、一つの用紙にみんなで絵を描いて大きな作品を作ったりしています。時折ケンカになることもあるけれど、一人ひとりが「友だちと一緒に!!」を楽しんで遊んでいます。



3月生まれのお友だち



りくくん



みことくん